



地域とともに子どもの 学びを支援する

犬山・^{いけの}池野小PTA

校区内に、国の天然記念物「ヒトツバタゴ自生地」や世界かんがい施設遺産「^{いる かいけ}入鹿池」などがある池野小学校。さまざまな技能や経験をもつ人材も豊かな地域にあります。総合的な学習の時間における5年生の環境学習や6年生のキャリア学習において、PTAや地域が積極的に子どもの学びを支援しています。

5年生では、ヒトツバタゴ自生地の管理をされているかたのお話を聞きます。手引きもなく試行錯誤で繁



ヒトツバタゴの苗と種を見ながら、苦勞したお話を聞きます。

大きな声を出しながら、保護者と太鼓をたたく6年生たち。



ハンギングフラワー作りでは、それぞれが思い思いの工夫をして苗を植えました。

殖に取り組み、失敗を重ねながらも成功したお話から、自然保護の難しさややりがいを学びます。

6年生では、地区の伝統芸能である太鼓の復活に取り組むかたや、花や植物についてのボランティアをされているかたのお話を聞き、体験実習を行います。どちらも講師は保護者です。親しみのある講師からの指示を聞きながら、笑顔で実習に取り組みました。ペットボトルに花を植えて作ったハンギングフラワーは、自分たちの卒業式の会場に飾ります。

PTAと地域が、しっかりと子どもたちの学びを支えています。これからも、この輪が広がっていくことを願っています。



DATA≫ 所在地●犬山市秋下51 児童数●133人 周辺環境●犬山市の南東部、入鹿池のほとりに位置する。校区には明治村や尾張富士もあり、自然環境が豊かである。近年は児童数の増加が著しく、10年前のおよそ2倍となっている。